



東海村

議会だより

第38号

2019.10



目次

9月定例会

- 幼児教育・保育の無償化スタート P 2
- 議会トピックス P 2 ~ 3
シルバー人材センターの働き方の改善を / 役場敷地内に保育所新設
- 賛否の分かれた議案、討論 P 4 ~ 5
- 村政を問う！〔一般質問〕 P 6 ~ 13
- 12月定例会日程（予定） / 議会の豆知識 P 14

国体（東海高校）において
南中ソーラン

9月議会 あらまし

※全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



令和元年第3回定例会（9月議会）は、9月2日に開会し、26日までの会期で開催しました。

今議会では、平成30年度決算認定や本年10月から開始される幼児教育・保育の無償化に関連した条例改正及び補正予算など36件の議案が提出され、慎重審議の結果、すべて原案のとおり可決・認定しました。

その他、開会日と閉会日には議員及び執行部全員で緑色の国体ポロシャツを着用し、いばらき国体に向けた機運醸成を図りました。

幼児教育・保育の 無償化がスタート



少子化対策の観点などから、子育てや子どもの教育にかかる費用負担の軽減を図るべく、本年10月から幼児教育・保育の無償化がスタートします。これにより、3歳児クラス（年少）から5歳児クラス（年長）の子ども及び住民税非課税世帯の0歳児クラスから2歳児クラスの保育料徴収がなくなり、保護者負担が軽減されます。

この無償化に伴い、幼児教育・保育に関連する国や村の財政負担等の仕組みが大きく変化することから、一般質問や予算決算委員会の場面において、関連する話題が数多く取り上げられました。



シルバー人材センターの働き方の改善を

本年1月、女性議員がシルバー人材センター女性部会の方々と意見交換を行いました。その中で、平成28年に雇用保険法等の一部改正に伴い、庭木の剪定などの請負業務は、月10日までという制限がついたことで、働く意欲はあっても、仕事の依頼を受けられない現状が、課題として見えてきました。

そこで、「会員個々人が働くことを通じて、積極的に社会奉仕活動を行い、地域社会に貢献していく」という本来の役割を果たすことができるよう改善を求める意見書について、国の関係機関に提出することを、全会一致で可決しました。



太陽光発電施設

村独自のルールづくりに 早急に取り組むべし



建設予定地：東海村須和間・村松地区内
事業用地面積：約 16ha
総出力：12MW
(約4990戸分の電力消費量に相当)
事業者：(株)A スタイル 東京支社
※本社は埼玉
運転開始：2021 年 3 月予定

現在、太陽光発電施設の設置については、茨城県が定める「ガイドライン」に基づき、事業者から事業概要書の提出を求める等の運用を行っています。今般、須和間・村松地区内において大規模な太陽光発電施設の事業計画が表面化し、近隣住民から住環境面への影響や自然景観が大きく変化することに対する不安の声があがっている状況です。

そこで、今議会の最終日に、当該施設の適正な設置や維持管理の観点から、協定締結を含む関係条例の制定など、本村の地域特性に応じたルールづくりに早急に取り組むよう、村執行部に対する決議を全会一致で可決しました。

今後の執行部の動向に注視していく予定です。

8月20日
臨時会

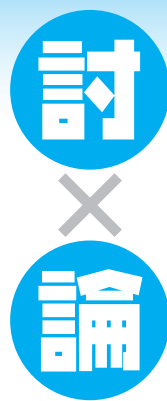
役場敷地内に保育所新設



村では、かねてから懸案となっていた待機児童の早期解消を目指すため、役場敷地内に村立保育所を新設する予算を計上しました。8月20日に臨時会を開催し、保育所新設費で限度額約4億5千万円の債務負担行為を賛成多数で可決しました。

新保育所の定員は93人。リース方式で期間は10年間とする臨時的な措置で、来年5月1日から供用開始の予定です。

これにより、待機児童の課題は大きく前進する見込みですが、深刻さを増す保育士不足の中、スタッフが確保できるのか、大きな課題が残っています。



討論とは…自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

本会議の討論は全体で13件ありましたが、主なものを掲載します。



議案第51号
東海村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

反対

無会派 大名 美恵子 議員

個人番号カードを使用してのみ、印鑑登録証明書のコンビニ交付が可能になるとい
うが、個人の選択であるはずの個人番号カ
ードの作成を誘導し、紛失などによる情報漏
えいなりすましのリスクが高まり反対。

議案第73号
令和元年度東海村一般会計補正予算（第5号）

賛成

みずの会 江田 五六 議員

子育て支援事業は大切な事業。待機児
童解消は一日も早い解決が必要。保育無償
化で増加する入所児対策に税金を効率的で
有効に使い、計画性のある迅速で的確な対
応が必要。一方、民間保育園に対して支援
も必要。

認定第1号
平成30年度東海村一般会計歳入歳出決算の認
定について

反対

無会派 大名 美恵子 議員

学校給食調理部門の民間委託が舟石川
小学校に拡大されたことや、議員のアイダ
ホ訪問に係る経費支出は認められない。ア
イダホ訪問の議員に特別な役割はない。参
加するのであれば、住民同様自費とすべき。

認定第9号
平成30年度水戸・勝田都市計画事業東海村公
共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて

反対

無会派 大名 美恵子 議員

特別会計から公営企業会計への移行準
備と年度内に条例改定し移行を決定的にし
たことは認められない。当事業は独立採算
制とはいえ利潤を生み出す事業ではない。
住民の負担増が明確な企業会計は中止に。

認定第10号
平成30年度東海村水道事業会計歳入歳出決算
の認定について

反対

無会派 大名 美恵子 議員

基本水量を見直し節水意欲を促そうと
したことは評価できるが、水道料金を引き
上げた決算は認められない。他自治体には
ない本村の独自性発揮により、低廉な価格
での提供に努力すべきであった。

請願第31・2号
後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上
げに反対する請願

賛成

無会派 大名 美恵子 議員

病気になりがち、収入が少なく暮らし
が不安定など75歳以上を一つの「保険」に
集めて運営する制度設計そのものに無理が
ある。住民負担増でなく社会保障として国
庫負担の大幅引き上げこそ最重要。

反対

公明党 岡崎 悟 議員

世界に誇る国民皆保険制度及び医療制
度などを、次世代に残すために、負担と給付
をどうすればよいのか。慎重かつ丁寧な議論
が必要で、大変難しい判断を含んでいる。よっ
て、今は今後の動きを見守りたいと考える。

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい											みすずの会				公明党		無会派		結果		
	鈴木 昇	飛田 静幸	村上 邦男	舩井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	新垣 麻依子	江田 五六	恵利 いつ	清宮 寿子	阿部 功志	岡崎 悟	植木 伸寿	大名 美恵子		村上 孝	
議案第 51 号	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	可決	
議案第 53 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第 61 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第 70 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
認定第 1 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第 2 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第 3 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第 4 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第 9 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第 10 号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
請願第 31－2 号	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	不採択

○…賛成

×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

議案第 51 号	東海村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について コンビニエンスストアにおける、マイナンバーカードを使用した印鑑登録証明書交付サービスを新たに行うための条例の一部改正
議案第 53 号	東海村行政財産の使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について 行政財産の使用量の算定規定と、消費税及び地方消費税に相当する額の加算規定を整理するための条例の一部改正
議案第 61 号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 地方消費税率の引上げに伴い、水道加入分担金、水道加入特別負担金及び下水道使用料の引き上げを行うための条例の一部改正
議案第 70 号	令和元年度東海村下水道事業会計補正予算（第 1 号） 国道 245 号線拡幅工事に伴う下水道管路移設工事費の追加のため
認定第 1 号	平成 30 年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第 2 号	平成 30 年度東海村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 3 号	平成 30 年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 4 号	平成 30 年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 9 号	平成 30 年度水戸・勝田都市計画事業東海村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 10 号	平成 30 年度東海村水道事業会計歳入歳出決算の認定について
請願第 31－2 号	後期高齢者の医療費自己負担 2 割への引き上げに反対する請願 75 歳以上の医療費の窓口負担を 2 割に引き上げないことを求めたもの

村政を問う!

一般質問

一般質問とは

議員が、村のさまざまな施策について村長や教育長など執行部に対して質問し、時には是正を求めながら、新たな施策の提案や意見を述べ、村政をより良い方向へ導くものです。

武部 慎一 議員 P.7

- 1 夏休みの宿題について
夏休みの有効活用、新たな体験、自由研究とは
- 2 公共交通の今後について
多様化するニーズの検討が必要では
- 3 人材育成について
働き方改革、意識改革、再教育、職場づくり
- 4 震災後の除去物の最終処分に向けて
残された除去草木類の処分は如何に
- 5 情報管理、公文書等記録管理
多様化する情報更新、歴史情報の保存

新垣 麻依子 議員 P.7

- 1 高齢者支援と多職種連携
- 2 健康増進への取り組み

阿部 功志 議員 P.8

- 1 原発再稼働について、村民に判断材料を提供する方法は
- 2 原発に依存しない村づくりの具体的な方針は
- 3 使用済核燃料税を村として課税しては
- 4 社協内部の「パワハラ」に対する村の見解は
- 5 「投票難民」の対策として移動投票所制度を導入しては
- 6 「買い物難民」対策として、デマンドのより効果的な改善策は

大名 美恵子 議員 P.8

- 1 幼児教育・保育の無償化に関連して
- 2 学童クラブの充実について
- 3 加齢性難聴者への補聴器購入補助を
- 4 太陽光発電の適正な設置・管理
- 5 東海第二原発の再稼働ストップ

笹嶋 士郎 議員 P.9

- 1 ふるさと納税について
- 2 東海南中学校の建替え計画
- 3 東海駅男性トイレ改修
- 4 石井歯科前横断歩道設置
- 5 職員採用と人事

清宮 寿子 議員 P.9

- 1 舟石川コミセン駐車場の樹木伐採の問題点
- 2 「交流館は未来への投資である」との村の考えに関して
- 3 東海村の住民自治とは
- 4 保育料無償化による村財政への影響は

恵利 いつ 議員 P.10

- 1 緑地の乱開発を抑制しつつ再生可能
エネルギー普及拡大を進める村となるための
条例づくり
- 2 多様な子育てを選択できる支援のあり方

河野 健一 議員 P.10

- 1 サウンディング型市場調査について
- 2 幼児教育・保育無償化による予算への影響
- 3 時間外勤務について
- 4 白方街道踏切の安全対策

村上 孝 議員 P.11

- 1 教育問題について
- 2 地域自治の推進について
- 3 農業問題について

江田 五六 議員 P.11

- 1 第6次総合計画策定事業の進捗状況は
- 2 石神城址公園への道路整備計画は
- 3 地域支え合い活動団体への補助の進捗状況は
- 4 水道事業の今後の取り組みは

岡崎 悟 議員 P.12

- 1 小型家電リサイクルの現状と進捗
- 2 乳がん検診の取り組み
- 3 阿漕ヶ浦公園の水場蛇口
- 4 網膜色素変性症支援眼鏡への助成

植木 伸寿 議員 P.12

- 1 ICT（情報通信技術）活用に向けた取り組みは
- 2 とうかい版ネウボラの取り組み
- 3 高齢ドライバー事故防止への取り組みは

舩井 文夫 議員 P.13

- 1 姉妹都市の検討状況
- 2 駅西広場の活用と今後について
- 3 東海スマート IC について
- 4 東海郵便局の集配業務
- 5 空き家対策の現況と対策

※青字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

東海村議会

検索



問 除去物の最終処分の状況は如何に

答 有意な測定値は検出されていない



新政とうかい
たけべ 武部 慎一 議員

問 東日本大震災により、汚染された除去物土壌・草木類が発生した。昨年、村は環境省から受託され、「除去土壌」の埋設実証試験を行った。そのモニタリングの状況等と、除去土壌埋設地の今後の措置、管理の検討状況はいかがか。また、残された除去草木類は、今後の処理、処分をどのように進めるのか。埋設事業におけるガイドラインについて現在の検討状況を伺う。



除去物(土壌・草木類)のフレコンを全て機構に移した後の状況「東海十二景が戻った白方公園」

所敷地内に全て運搬した。除去土壌は埋立実証試験が行われ、草木類(除染廃棄物)は保管されている。実証事業における空間線量率に有意な値は検出されず、週1回のモニタリングを継続中。草木類は経年変化もあり、繊維化・腐葉土化し、焼却・減容が困難な状態。今後の取り扱い等を環境省と協議中。国ではこれら実証事業の結果を基に、ガイドラインの検討を進めている状況である。

問 高齢者の生活支援、拡充の課題は

答 担い手不足と認識している



新政とうかい
あらかき まいこ 新垣 麻依子 議員

問 地域包括ケアの構築が求められている中、医療・介護・福祉の多職種連携の取り組みは。

答 医療・介護・福祉の関係者が情報交換を行いながら、顔の見える関係づくりを築く「むらカフェ」を実施しており、4月には初めて症例を元に事例検討会を開催した。今後、定期的に開催できるように関係を深めていく。また、情報連携ツールとして「メディカルケアステーション」の運用

医療・介護・福祉関係者のための...

むらカフェ

今回のテーマ：「高齢者を迎えること」

「むらカフェ」は、ケアに関わるすべての関係者が集まり、地域の課題を話し合い、連携を深める場です。地域包括ケアの実現に向けて、関係者間の情報交換と関係構築を目的としています。

日時：令和元年 6月12日(水) 19:00~

場所：東海村生涯学習センター 2階 会議室

対象者：医療・介護・福祉関係者、地域住民、関係機関職員等

持ち物：メモ、筆記用具、飲み物

その他：参加費・会費はなし、駐車場あり

医療・介護・福祉のコミュニティの場となっている村カフェ

を今年の4月から開始し、地域包括支援センターとの連携をより強いものにしていく。

問 地域支え合い活動団体の支援や高齢者の生活支援サービスを拡充していく上での課題は。

答 高齢化や役員の担い手がいないため、団体存続も考えなければならぬ課題のひとつであると認識している。介護予防活動を実施する地域支え合い活動団体への働きかけを行うと共に、生活支援における実態や状況を聞くなど、ニーズに対応できるよう取り組んでいく。

問 使用済核燃料税を 村で課税しては

答 県に応分の配分を要望したい



みすずの会
あべ こうし 議員
阿部 功志

問 使用済核燃料は今後も長く村内に置かれたまま。迷惑料として村独自に課税しては。

答 県が核燃料等取扱税として課税しており、地方税法上、二重課税は難しい。県から応分の配分を受けられるよう要望等の対応を図る。

問 県の税収額と本村への配分額は。他県との原発立地自治体では年間3億円から5.7億円の税収がある。

答 平成30年度で約12億3,100万円。うち30キロ圏内の14市町村に23%（本村含む10市町村に21%、離れた

新潟県柏崎市	年間 約5.7億円
佐賀県玄海町	5年で 約21億円
愛媛県伊方町	年間 約3億円
鹿児島県薩摩川内市	年間 約4.8億円
東海村	年間 約0.74億円

使用済核燃料への課税
(東海村は少額)

4市町に2%）、本村には約7,400万円。

問 本村への配分はわずか6%で少なすぎる。県が77%と取りすぎ。法的に配分の規定はなく、県が割り振った合理的根拠や県の使いみちを確認して、本村への配分を増やすよう交渉を。

答 県への制度継続や配分確保の働きかけを行っていく。

問 本村には危険な再処理施設などもある。別に産業廃棄物税など独自の税の新設を考えた。

答 既に産業廃棄物等についても県で課税しており、地方税法上、難しい。

問 加齢性難聴の 補聴器購入に助成を

答 難聴は認知症のリスク要因の一つ



おおな みえこ 議員
大名 美恵子

問 加齢に伴う難聴は人とのコミュニケーションに困難が表れ、厚生労働省の「認知症施策推進総合戦略」は認知症の原因との関連を指摘している。

加齢性難聴になった知人の様子を見ていると、だんだん表情が乏しくなり、話の中に入れないというあきらめ感が強くなっていることが伺え、補聴器の使用が大変重要になっていると感じる。補聴器は高齢者の社会参加の必需品ともいわれる。補聴器は片耳3万円から50万円など高く、

保険適用外のため購入をあきらめている方も多いと見受けられる。購入補助を創設してはどうか。

答 補聴器は難聴の進行を抑えることができ、また、難聴は認知症のリスク要因の一つとされ、補聴器と認知機能の低下予防の研究が昨年から国において開始された。

補聴器購入補助について、最近の国会や県・他の市町村議会でも取り上げられていることから、その動向を踏まえ総合的に検討したい。



値段も形もさまざまな補聴器

問 舟石川小側に 横断歩道設置を

答 設置に向け協議を進める

問 船場区自治会の石井齒科前の交差点において、以前担当課に日立市側の横断歩道が設置されていないので設置して欲しいと相談した。交差点付近に道路が隣接していることや、信号機・街路灯の位置などの障害物があり、難しいとの回答だった。しかし、国道6号方面から来る中学生は、横断歩道があれば1回で渡れるところを3回もかけて渡っている。大変不便な状況であることから、来年度の須和間踏切拡幅に合わせて交差点を改良



新政とうかい
ささしま しろろう 議員
笹嶋 士郎



横断歩道の設置されていない交差点

し、横断歩道を設置できないか。
答 横断歩道を所管する県警に確認したところ、正規の横断歩道が難しい場合でも、現地状況によっては、設置している事例がある。来年度に予定している須和間踏切の拡幅により、歩道がJＲ常磐線を挟んで東西に繋がることになる。本交差点の横断歩道設置に向け、引き続き関係機関と協議していく。

問 舟コミ広場の 樹木伐採の問題点

答 原子力災害発生時の一時集合場所

問 「樹木と下草は夏祭り実施時の涼のために欠かせない」また「憩いの場なので切らないで」などの住民の声が届いている。樹木伐採を含む駐車場整備の目的は。
答 広域避難計画案で原子力災害発生時の一時集合場所であり、駐車場数確保のため。
問 災害発生時、相当数の村民は「てんでんこに逃げる」と言い、駐車スペースを確保しても集合する村民は何人か。さらにバス確保や道路の混雑等、避難計画は問題山積であ



みすずの会
せいみや としこ 議員
清宮 寿子



10月2日樹木が伐採された舟石川コミセン

る。これらの課題解決を後回しにして、「日よけになるし、心休まるので木を切らないでほしい」との住民の声に耳を傾けず、整備ありきの姿勢は、いかなるものか。またこれらの住民の要望は、憲法で幸福追求権として保障されるべき。
答 駐車場整備は災害時や普段利用を考慮しており、将来の住民の生活・安全確保に寄与する。整備の目的と内容等については、今後とも地元の皆様のご理解をいただきながら、丁寧に進めていく。

問 多様な体制で 子育て支援の充実を

答 待機児童解消を最優先する



みすずの会
えり 恵利 議員

問 子育て環境、取り組み方は家庭ごとに違うため、育児の在り方を選択できる多様な体制を整えることが理想。「保育ママ」制度について考えは。

答 有効な取り組みの一つと考える。

問 親が安心して働くためにも保育施設の整備は大切。プレハブで計画中の新保育所で園児一人当たりの維持管理費はいくらか。

答 児童一人当たり年間約135万円と試算。

問 保育の無償化で入所希望者が増加し、受け入れ困難な状況も予

測される。一方、家庭で育てることも立派な仕事と考え、育児への公平な支援として育児休暇のない家庭に在宅育児手当導入の検討を。

答 手当の支給ではなく、社会全体でサポートすることが大事。在宅育児手当は考えていない。

問 貴重な緑地、積極的に保全を

答 「村民の森」指定を平地林にも拡大

問 緑地を守るルール作りを訴えてきたが、16haもの森林伐採計画が進行中。村の考えは。

答 個人の財産で権利もあり、難しい問題である。



仲間と手入れをしている森
(隣接地で大規模開発が計画中)

問 白方街道踏切、 今後の安全対策は

答 令和2年度末までに改良計画策定



新政とうかい
かわの けんいち 議員

問 現在、白方街道踏切については、改良計画の策定や実施を進めるため、村・国・県・JR東日本による地方踏切道改良協議会を設置したと伺っている。また、検討会も設置され、百塚自治会からは「狭い踏切での通行の安全対策のため、歩行者と自動車の通行帯を分離する必要があるのでは」との意見が出されたと同っている。現在の状況と今後の取り組みについて伺う。

答 白方街道踏切は、通学路の児童・生徒の通行の安全を確保する

必要があるとして、平成29年1月に踏切道改良促進法に基づく指定を受けた。その後、平成30年11月には地方踏切道改良協議会を設置し、平成31年4月には関係機関による検討会を行い、百塚区自治会からは歩道整備の意見が出された。現在は令和元年5月から9月までの工期で踏切及び周辺部の現地調査を実施している。今後は今年度開催予定の協議会で検討し、令和2年度末までに改良計画策定に向け手続きを進めていく。



早期改善が望まれる白方街道踏切

問 幼保無償化スタートによる影響は

答 幼保再編整備計画を見直す

問 国の幼保教育無償化がスタートする中で、村立保育所・幼稚園等の再編整備計画の影響と石神幼稚園と石神小学校の連携はどのように保われるのか。

答 幼児教育・保育の無償化による潜在的なニーズに対応する処置で、令和2年には新保育所を整備する。一方で園児数の減少傾向も踏まえ、再編整備計画の見直しを考えた。石神幼稚園と石神小学校の連携は、今後も、子ども・教員の交流、学校施設の活用を通して進めていく。



村上 孝 議員



台風15号による稲の倒伏

問 天候不順による米の減収対策は

答 自然災害には補助金が交付される

問 飼料用米が減収のとき、主食用米で充足する国の米政策は不合理がある。村は国や農業共済組合へどのように働きかけたのか。

答 自然災害等による減収には、主食用米を充足することなく補助金が交付される。しかし減収の認定には農業共済組合の圃場確認が必要のため、大規模な農業災害と判断される場合を除き、原則、加入者が収穫前に組合に申告することとなる。

問 地域支え合い活動事業の進捗状況

答 地域と話し合って進めていく

問 近い将来、少子高齢化が進みさまざまな社会的課題が予想される。高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、地域支え合い活動団体補助事業制度が必要と考える。本村では生活支援サービス事業のガイドラインがないが、今後の取り組みは。

答 生活支援サービスとして、移動支援・ゴミ出しや清掃といった家事支援について、村民がどのような形を望んでいるか話し合い、進めていく。



みすずの会
江田 五六 議員



建設から42年経過し、老朽化した外宿浄水場

問 石神外宿浄水場の更新工事は

答 施設の延命工事を行っている

問 水道事業は、村民にとって大切な事業だが、外宿浄水場の耐震・補強・更新工事の取り組みはどうか。近隣自治体では50年を目途に更新工事を行っている。すでに外宿浄水場は42年が経過しているため、計画的な対応が必要と思うが考えは。

答 旧配水池・管理棟耐震補強工事及び取水場電気施設更新工事など必要な工事は進めてきた。

問 乳がん自己触診 手袋の配布拡大を

答 手袋活用で乳がん検診の受診勧奨



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟

問 乳がんは、日本人女性が一番多く発症するがんで、自分で発見できる唯一のがんでもある。本村は乳がん検診受診率が県内第1位（平成27年度～29年度）で、検診意識が高い。よって、乳がん自己触診手袋を使つてのセルフチェックの習慣化が取り組みやすいと考えらる。本村は、この4月から「赤ちゃん教室」で、乳がん手袋の配布を始めた。このセルフチェックの必要性を、若い年代を含め幅広い年代に周知し、使い方を指導を実施し、女性の



乳がん手袋によるセルフチェックの習慣化を

命を守る乳がん自己触診手袋の活用を進めていただきたい。
答 子育て中の女性は、忙しさから検診や体のケアを後回しにする傾向がみられる。今後は母子保健事業の参加者だけでなく、20代から60代の女性を対象に開催している「女性の健康づくり講座」等、女性が集まる講座において、手袋による自己触診の手法を丁寧に伝えながら、手袋の配布を通して、さらなる乳がん検診の受診勧奨を図る。

問 母子健康手帳アプリの運用は

答 引続き積極的な周知に努める



公明党
うえき しんじ 議員
植木 伸寿

問 母子健康手帳のアプリ（電子化）は母親だけでなく父親にも好評のようである。どのようなものか伺う。
答 アプリは、冊子の母子健康手帳と同等の内容を記録することができるほか、妊娠週数や子どもの月齢に合わせた情報の提供、予防接種の自動スケジュール、そして、日々の成長日記としても家族で共有できることから、父親の育児参加を促す効果も期待できる。また、村HPにある子育て応援ポータルサイトで「のびのび子育て帳」



日々の成長記録としても活用できる母子健康手帳アプリ

とも併せて案内しており、好意的な反応がある。
問 子どもの視力改善に向けた取り組みは。
答 母子保健法に則り3歳児健診時に視力検査を実施。何らかの問題があれば眼科を受診するよう勧奨し、早期に治療を開始できるように万全の体制を整えている。
問 弱視などの診断を受けた子どもに対する支援は。
答 医師の指示で弱視用のメガネなどを作った9歳未満の子どもを対象に、限度額はあるが保険適用分が医療福祉費として払い戻しが可能となる支援がある。

問 駅西広場の活用と 今後について

答 広場の完成は来年度を予定



新政とうかい
ますい ふみ お 議員
舩 文夫

問 懸案の駅西広場が更地となり、国体開会日の一日のみ、送迎用のバスターミナルとして使用するが、国体終了後は、どのように整備や活用を考えているのか。

答 国体終了後の整備は、東海駅西口広場再整備事業として、広場面積4,620㎡のうち約60%が完成している。今年度は、駅前地権者の物件移転及び造成工事が8月末に完了し、国体を迎える予定。来年度については、広場再整備3期工事を予定しており、駅西ロー



昭和38年に都市計画が決定し、56年ぶりに解決した駅西広場

タリーへの取り付け道路、憩いの広場のスペースを確保する計画となっている。

また駅西広場の「にぎわいの空間・憩いの場」ゾーンについては、「地域の歴史・文化・伝統を大切にしつつ作る枠を育てる空間を創出する」という整備方針により再整備しており、完成後の具体化に向け、地元のフローラ通り商店街の商工会等の関係者と意見交換をしながら、活性化方策について検討していく。

Committee Report 委員会レポート

議会運営
委員会

タブレット端末導入による ペーパーレス議会の検討

議会の定例会や委員会等においては、膨大な紙資料を使用することから、資料をタブレットで表示するペーパーレス議会の検討を議会運営委員会で行っています。



導入により用紙代・印刷代等が削減されることのほか、さまざまな行政・議会情報を外出先でも閲覧出来るようになるため、議員活動の活性化にも繋がります。また、災害時にはリアルタイムで情報収集が可能になります。

令和2年度中のスムーズな導入に向け、タブレット操作の議員研修についてもあわせて行っています。

文教厚生
委員会

病児・病後児保育施設 「るぴなす」を視察

文教厚生委員会では、5月2日に開所して3ヶ月が経つ病児・病後児保育施設「るぴなす」の視察を行いました。

病児・病後児保育とは、お子さんが病気又は病気回復期で保護者の仕事などの都合により家庭での保育ができない場合に、一時的にお子さんを預かるサービスです。

委員会では、利用状況の確認のほか、病児



のお子さんを預かる難しさや緊急時の対応等について、実際に保育室等を見学しながら確認しました。

表紙写真の紹介



写真は、9月30日(日)実施の第74回国民体育大会ホッケー競技の歓迎アトラクションで「南中ソーラン」を披露する東海南中学校のソーラン隊です。総勢約100名近くの生徒がグラウンド全体を使って披露し、練習の成果が発揮され、選手や観客にそのおもてなしが好評でした。



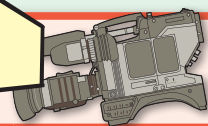
傍聴から はじめよう!

どなたでも傍聴できます。
役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は
50名

12月定例会日程(予定)

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中



期 日	時 間	内 容
11月28日(木)	午前10時～	開会
12月6日(金)	午前10時～	一般質問
12月9日(月)	午前10時～	一般質問
12月10日(火)	午前10時～	一般質問

期 日	時 間	内 容
12月11日(水)	午前9時～	予算決算委員会
12月12日(木)	午前10時～	予算決算委員会
12月17日(火)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

「特別委員会」って何ですか?

イモソー
ファミリー
と学ぼう

議会の豆知識
No.13



がおりん



何をしているの?

「特別委員会」は、設置目的を明確に決めて、重要な議案や問題について調査を行います。
案件の処理や調査が終了し、議会に最終報告をした時点でなくなる委員会です。



何を審査するの?

特別委員会に付託することができる事件は、地方自治法に定めはないため、議会において審議されない事件であっても、設置目的とすることができます。



メンバー構成は?

現在の東海村議会では、「原子力問題調査特別委員会」に10名の議員が所属しています。



傍聴はできるの?

お住まいの市町村名と氏名を記入すれば、傍聴することができます。



原子力問題調査特別委員会のようす